



資料提供
令和元年7月2日
課名 薬務課
担当者 應和
内線 3220
直通電話 082-513-3220

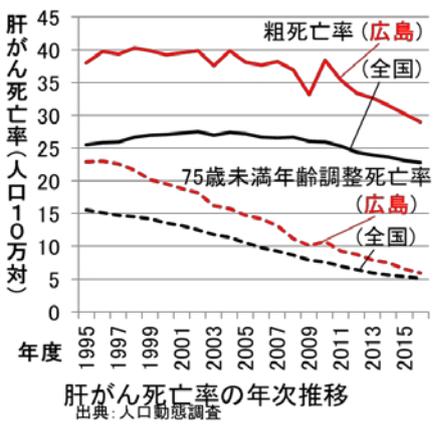
本県初の肝炎対策協定を締結！

広島県・広島大学・アッヴィ合同会社の三者協定を締結し、
肝炎対策の推進による、県民の健康寿命の延伸を図ります

1 趣旨

肝がんの主な原因はB型・C型肝炎ウイルスですが、早期発見・早期治療により肝がんの発症は抑えることができます。広島県は、全国と比べて肝がん死亡率の高い県ですが、積極的に肝炎対策を行い、全国平均を上回るペースで肝がん死亡率が低下しています。

県では肝炎対策を更に推進するため、研究機関であり肝炎治療の中心的役割を担う広島大学と、肝炎撲滅に向けた社会貢献活動に尽力する製薬企業であるアッヴィ合同会社との三者で、肝炎対策に係る相互協力を目的とした連携協定を締結し、県民の健康寿命の延伸を目指します。



2 協力内容

- (1) 肝疾患の啓発に関すること：肝炎ウイルス検査受検・受診・受療の啓発等
- (2) ひろしま肝疾患コーディネーター^{*}に関すること：研修会の開催等
- (3) 肝炎ウイルス陽性者のフォローアップに関すること
：肝炎ウイルス陽性者を専門医に繋げる取組の強化等
- (4) その他県民の健康増進に関すること：日本肝炎デーにおける広報活動等

※ひろしま肝疾患コーディネーター

肝炎に関する啓発活動や治療等に関する相談対応を行う者。県の行う養成講座を受講し、基準を満たした者をコーディネーターとして県が認定する。医療機関や行政機関、一般企業、患者団体など様々なところにコーディネーターがあり、県民により近い立場から肝炎対策に取り組み、重要な役割を果たしている。

3 協定締結式

日時	令和元年7月18日(木) 15:35~16:00
場所	広島県庁北館2階 第1応接室
協定名称	広島県・国立大学法人広島大学・アッヴィ合同会社 [*] の 県民の肝炎対策の推進に係る連携に関する協定
出席者(敬称略)	・国立大学法人広島大学学長 越智光夫 ・アッヴィ合同会社社長 ジェームス・フェリシアーノ (James C. Feliciano) ・広島県知事 湯崎英彦

※アッヴィ合同会社

アッヴィは、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業である。免疫疾患、がん、ウイルスおよび神経疾患の4つの主要治療領域での治療を大きく向上させることをミッションに掲げている。日本においては、1,000人を超える社員が、医療用医薬品の開発、輸入、製造販売に従事している。